

2016年度夏季企画展

大谷大学所蔵の
考古資料
末永コレクションを中心に

2016年6月14日|火|～7月30日|土|

休館日 日曜日・月曜日(ただし7月17日[日]は開館)
開館時間 午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)
観覧料 無料

大谷大学博物館
Otani University Museum

2016年度夏季企画展

大谷大学所蔵の 考古資料

末永コレクションを中心に

本館の収蔵品は、仏教文化財を中心とする古典籍に特徴がありますが、大学関係者から寄贈された考古資料も収蔵しています。今回はその中から、考古学者の末永雅雄（二八九七～一九九二）寄贈の資料を中心に紹介します。

末永は、大阪府の生まれで、京都帝国大学考古学教室で濱田耕作に師事し、奈良の石舞台古墳をはじめ、高松塚古墳や藤ノ木古墳などの発掘調査に参加して多くの研究業績を残しました。昭和六三年（一九八八）には文化勲章を受章しています。本学へは、昭和一七年（一九四二）に文学部嘱託教授として着任し、一九九年まで教鞭をとりました。

展示品には、末永が昭和二年（一九三七）に担当した唐古・鍵遺跡や、翌二三年の橿原遺跡出土の資料が含まれています。前者の調査によって初めて弥生農耕が実証され、後者の調査を契機に橿原考古学研究所が創設され、末永はその初代所長を務めました。本展では併せて、本館所蔵の古瓦や大学構内から発掘された遺物についても紹介しています。



1



2



3



4



5



6



7

1. 伝ウワナベ（宇和奈辺）古墳出土品（一部復元） 2. 美濃山大塚古墳出土品 3. 唐古・鍵遺跡出土品
4. 新沢一町遺跡出土品 5. 鴨山古墳出土品 6. 直刀 7. 鏝

2016年度の展覧会〈予定〉※都合により変更する場合があります。

■秋季企画展

大谷大学博物館の逸品—重要文化財「湯浅景基寄進状」—
実習生展併催

2016年9月6日(火)～9月24日(日)

■特別展

戦国乱世と山科本願寺

2016年10月13日(火)～11月28日(日)



大谷大学博物館

Otani University Museum

京都・大学ミュージアム連携
University Museum Association of Kyoto

〒603-8143 京都市北区小山上総町 Tel.075-411-8483 Fax.075-411-8146
http://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/

●地下鉄烏丸線「北大路」下車、6番出口すぐ
●市バス「北大路バスターミナル」、「下総町」、「北大路駅前」下車
●駐車場はございませんので、お車のご来館はご遠慮ください。
ただし、身障者用の車の場合は事前にご連絡ください。